

箱根の状況に対する対応

当所としての対応を報告いたします。

私どもはこれまでもずっと箱根の火山のおかげ様で、温泉あり、名所ありという中で商いをさせていただいてきました。まさに、自然のリスクと同居しながら、その恵みもいただきながら、営みを続けてきたということでございます。ですから、今回のことで、だ誰かや何かを非難したり恨んだりするべきものではないと思っております。

しかし、地元に住む者の生活は全く普段どおりでありながら、商売には大変厳しい影響が出始めていることも事実であります。これから夏に向かい、そしてトップシーズンである秋へと長期化の兆しもあります。箱根だけでなく、小田原の経済にもじわじわと影響が出始めてきました。

当初、お客様やメディアからの問い合わせが多いであろうことを想定し、できるだけ正確かつ前向きな情報を提供することが肝要と考え、会員企業向けに Q&A のサンプルをお配りしました。

その後、長期化が懸念される中、このたび、当所では緊急で「箱根活性化会議」と称する対策本部を立ち上げました。会頭を議長に、副会頭、部会代表、防災特別委員会からなる組織横断的な構成で以下の活動を開始しました。

1.正確かつ迅速な情報収集

火山の状況と、特に観光面での現況、例えば、電車・バス等の乗降客数、宿泊施設の予約状況、観光施設の来客数などの情報を収集し、施策を講ずべき施策の参考とする。

2.誘客のためのアクション

町や市や観光協会等と連携して、お客様に来ていただく発信していく。また、会議所のネットワークを活かした活動も検討、実施する。

3.会員企業の資金面での支援策

資金繰りが厳しい会員企業への緊急融資について、地銀、信金、信用保証協会(担保のこと)、市・町(利子補てんのこと)と連携していく。また、長期化すると雇用の問題に波及してくるので、雇用調整助成金の適用などの支援策も検討する。

今後、この動きについては逐次お知らせしてまいります。

当初への要望があればお聞かせください。

力を合わせ、この難局を乗り越えてまいりましょう。

会 頭 鈴木悌介